

ングとCPD計画は、定期的に提供されはじ  
められることとなります。

## 研究と科学

腫瘍薬剤師の業務におけるデータは、過  
程を促進し、薬の適正使用を分析する  
為に適応の有用性を観察することに活用  
できます。このようにして、腫瘍薬剤師  
は、保険医療研究に活発な貢献ができる  
のです。

Decided by the ESOP Delegate Meeting, Krakow, June 26<sup>th</sup> 2014



European Society of Oncology Pharmacy (ESOP)

Veritaskai 6 · D-21079 Hamburg

Phone: +49 40 / 790 33 56 · Facsimile: +49 40 / 791 43 601

Homepage: [www.esop.eu](http://www.esop.eu) · e-mail: [memberships\[at\]esop\[dot\]li](mailto:memberships@esop.li)

# 腫瘍薬学における実務と研究の ための高度な水準

腫瘍薬学は、がん患者に対する細胞毒性  
薬の供給、調製、その取り扱いと安全な  
搬送、そして更に安全で高水準な治療の  
為に必要である治療のサポート、情報の  
提供、教育、研究を実施する為の専門知  
識を取り扱います。

抗腫瘍薬を用いる治療の典型的な特徴  
は、厳格な用量範囲と薬の効果、そして  
高度に複合した治療レジメンです。患者  
は基礎疾患もしくは治療の為に免疫  
不全となり、あるいは併存疾患で苦しみ  
ます。古典的な殺細胞抗がん薬を用いた  
強化化学療法において（しかし典型的な  
副作用による新しい治療の選択肢にお  
いてもですが）ガイドラインに従った専門  
家による管理と対症療法が必要となりま  
す。外来がん患者はどのように治療を用  
い、そしてどのように治療に関連する薬  
の問題に対処するかについて幅広い対応  
とカウンセリングを必要とします。

安全ながん薬物療法の質的要件を確保す  
る為には薬学的な専門知識が必要です。  
その為、腫瘍薬剤師は、臨床腫瘍チーム  
において必須な一員となります。腫瘍薬  
剤師は、初期及びその後の研修、そして  
継続的な専門性の開発により、安全な抗  
腫瘍薬治療の完璧な質を保証する最も可  
能性のある専門知識を習得します。



## 製品の調達

がん治療において使用される製品の購入  
は経済的な有益性について薬物療法の質  
と安全性の観点における専門家の評価を  
必要とします。偽造品、不適切な取り扱  
い、もしくは搬送での失敗に関わる全て  
のリスクは可能な限り最小限にしないで  
はいけません。もしも何かしらの品質に  
おける欠陥が確認されたならばその製品  
はすぐにリコール（欠陥商品の回収）が  
されなくてはなりません。搬送における  
いかなるギャップについても、その事例  
を担当する医師と相談し、可能な限り埋  
めていく必要があります。もしも輸入品

を利用する必要がある場合、薬剤師は信頼できる資源が選択されるように確認する責務があります。費用を節約する（おそらく多くでないでしょうが）ためにリスクのある薬の使用を避けることは不可欠なことです、しかし、最適な使用には資源が必須となります。薬の使用は治療の過程、薬の適合性と投与される薬の投与期間、その薬の性質と使用頻度とその他多くの因子、そして全体的な薬剤経済学的評価を担うもの、としての観点から常に考察されなければなりません。

## 調製

細胞増殖抑制薬の準備が誤って選択され、異なるラベルが貼られ、保存が不適切になされ、微生物汚染にさらされるような治療は、失敗するか患者に害を及ぼすこととなります。全ての過程の連鎖（処方標準化、妥当性の試験、製品の調達、補助薬の選択、調製環境のモニタリング、薬の調製とラベル、搬送と保管を含む業務）に関わる組織として腫瘍薬学を実践する薬剤師の職務があります。抗がん薬の薬用量は、診断によりかなり大きく変わります。全ての臨床的指標や患者の診断を考慮した腫瘍薬剤師による処方の妥当性の確認は安全な医学的治療の主たる役割を担うこととなります。もしも何かしら不明な点がある場合、これはすみやかに処方医と協議することになります。処方後において協議の必要がある場合は、その処方医と患者（もしくはどちらか）に薬の安全使用を確保する為に

十分な適切な情報を理解できる形式で提供しなくてはなりません。注射の無菌調製において、最終的な殺菌が必要のないように製品が無菌的に保たれるための全ての努力が必要とされます。腫瘍薬剤師は、不備のない調製により完璧な品質を正しい時間に使用できるように確認する業務をします。

## 薬の運搬

腫瘍薬剤師は、薬が運搬される時、必要となるデータとラベルがなされていか確認を実施します。もし、輸送が必要となるならば、薬の品質と完全性がこの輸送期間中において低下しないように注意を払います。

## 情報と助言

細胞増殖抑制薬による治療期間における薬学的業務の需要は、薬の正しい管理や適用についての教育的指導に限定されません。情報として他の薬もしくは支持療法薬との可能性のある相互作用（患者自身が摂取するものであっても）や食事の影響も考慮されなくてはなりません。細胞増殖抑制薬が投与される時、その製品に関連する問題もしくは有害な副作用は、治療とがん治療の成功に大きな影響をもち、詳細の情報と患者への薬学的サポートの提供は治療成功において重要な因子となります。医師と薬剤師が協働して実施するような満足のいく助言は、治

療における安心感を伝達することができると、がん患者の為になされます。薬剤師の参加による治療に対する多職種マネジメントを最大限まで活用してアドヒアランスを促進することはこの部分において重要な役割を果たします。

## ITソリューションの適用

物流、注文、処方、検査、調剤、文書作成、そして請求書明細書へのITソリューションの使用は治療の安全性を促進することを補助します。特に重要な事項のひとつに現場における必要事項と過程、そして目的の観点からおこなう正しいソフトウェアの選択があります。腫瘍薬剤師はその過程において鍵となる役割を担い、そして薬の使用について権限があることから、臨床部門と管理職員等と協力して適切かつ安全でユーザーに優しいソフトウェアの導入を確保します。

## 質的保証とガイドライン

腫瘍に用いられる薬と支持療法に使用する際において、根拠に基づくアルゴリズムとガイドラインは、それらの質的保証において必須な特徴となります。腫瘍薬剤師はそのスペシャリストとしての専門的知識を供給する医師と病院に対する専門職種間ガイドラインの立案に貢献します。その参加は治療チームにおけるものであり、それはがん治療に関する会議への出席や専門家チームや質的作業部会に

おける作業も含まれます。また、個々の患者のモニタリングの実施や薬学的介入を例えば病棟訪問や患者の記録の評価のように、医療専門職の共同作業の中でも実施します。腫瘍薬剤師は更に自らの労働環境において良質な管理システムを実装、定期的に見直し、更に開発することに関与します。

## 講習会の提供

情報の整理や教育的戦略は薬の正しく、質の保証された使用に重要なものです。患者とそして潜在的に有害な治療を扱う治療スタッフの安全は、“正しい薬の正しい患者への正しい時間における正しい使用”のなかに含まれます。薬の投与における専門家として、腫瘍薬剤師は患者に対する治療の正しい使用と適切な実施についての講習会を提案し、提供することに責任をもち、また、医師や看護師に対する講習会も行います。

## 更なる研修と継続した専門能力開発

更なる研修と継続した専門能力開発は、特定分野における専門化のように腫瘍薬学を実践しているものにより提供された業務の基盤となります。腫瘍薬剤師の定期的な更なる研修は、腫瘍薬剤師が共に働く薬剤テクニシャンのような医療専門職に対する更なる研修と同程度に重要なものとなります。適切な更なるトレーニ